



## 季節感

七重八重、花は咲けども山吹の  
実の一つだに なきぞ悲しき…  
道灌様はこの意味が解らなかった  
とか！ 又、お宝の大判小判の色を  
この花の色になぞらえ山吹色など  
とも言う…

『ヤマブキ』

平成23年5月1日  
福岡市早良区石釜地区  
大塚俊樹



## 熊洞居人独言

## #61

今回も「宝満山」の国指定史跡に関する話を咬いておこう。前回kumaと太宰府市との関わりを皆さんに報告しましたが、実は筑紫野市でも環境審議会や文化振興審議会に関わっています。宝満山は殆どの人に「太宰府の山」と思われているが、実は主尾根の東側は筑紫野市です。山頂直下の座主院跡や六合目の大南庭など、主要な遺跡群も半分は筑紫野市側です。東側斜面は、山頂から山麓にかけて、筑紫野市御笠地区と呼ばれています。

宝満山は、古代から近世にかけては「御笠山」と呼ばれていました。これは、大宰府政庁時代を含め、古代から近世にかけて旧御笠郡の守護神の坐す山として祀られてきたからです。「御笠」の名前は、神功皇后（古代の伝承人物）が香椎宮より松峽宮（まつのおのみや＝現在の北谷上部九重原付近）へ移動する時、現在の大野城市「御笠の森」付近で頭に付けた笠が風で飛んだことから、それ以来から付近一帯が「御笠」と呼ばれるようになったと伝えられています。明治15年（1882年）に県が発行した「福岡縣地理全誌」の記録から、旧御笠郡は、現在の大野城市・太宰府市・筑紫野市の範囲で、江戸時代には57の村があったと記録されています。宝満山周辺では、現在の太宰府市の範囲は北谷村・内山村・宰府村があり、筑紫野市の範囲では現在の御笠地区、柚須原村・香園村・本道寺村・大石村・吉木村・原村等があります。福岡縣地理全誌の記録から、江戸～明治初期にかけての生活のスタイルが読み取れます。例えば、柚須原村は家が16軒で人口は127人、この内男性は64人、女性は63人、田畑は約11hr（約1町）、山林は157hrでこの内草原は44hr。山林も殆どが里山・雑木林。牛は25頭で馬は居なかった。本道寺村は家が57軒で人口は311人。田畑は18hr 山林は182hrで、この内草原は94hr。牛は50頭で馬は居なかった。香園村は家が15軒で人口は78人。田畑は9hr 山林は128hrで、この内草原が106hr。草原は太宰府神社の社領であった。この時代の山林はその殆どが里地・里山として日常生活に利用されていました。草原は、その殆どがススキを中心とした茅場であり、牛や馬の餌、茅葺きの屋根材として利用されました。森林は雑木林が中心で、毎日の生活の薪や炭として利用されていました。

## 2011年度 定例総会のお知らせ

☆日付：6月 26 日（日） 集合：13時30分 ～ 解散 15時30分

☆開催場所 春日公園の旧公園管理センター

午前中は、春日公園内にて、全国一斉自然かんさつ会・蝶の観察会を予定しています。

午後は、公園内にある旧公園管理センター2階の会議室にて定例総会を実施します。

- ・ 2010年度の活動報告と決算案について
- ・ 2011年度の活動計画と予算案について
- ・ その他

連絡先 : 担当者名：田村 耕作

TEL 092-400-1765 [FAX兼用]

Eメール kurabird-.tamura@nifty.com



## 日本野鳥の会 福岡 主催

※参加費：100 円（中学生以下無料）

5 / 1 5（日） 6 / 1 9（日）  
天拝山探鳥会（筑紫野市）  
時 間：9:00～12:00  
集 合：天拝山歴史自然公園  
問合せ：092-920-7112（山本勝）

5 / 2 8（土） 6 / 2 5（土）  
久末ダム探鳥会（福岡町）  
時 間：8:00～11:00  
集 合：久末ダム多目的広場横駐  
車場（管理事務所下）  
問合せ：0940-33-7846（高原和幸）

6 / 5（日）  
今津探鳥会（福岡市西区）  
時 間：9:00～12:00  
集 合：玄洋高校西側道路  
問合せ：092-891-9005（神園道男）

6 / 1 1（土）  
大濠公園探鳥会（福岡市中央区）  
時 間：9:00～12:00  
集 合：ボート乗り場前  
092-573-1827（森健児）

6 / 1 2（日）  
和白海岸探鳥会（福岡市東区）  
時 間：9:00～12:00  
集 合：JR 和白駅前の公園  
問合せ：092-606-0012（山本廣子）

6 / 7（火）  
県営春日公園（春日市）  
時 間：10:00～12:00  
集 合：旧公園管理センター前  
問合せ：090-7390-3561（小野仁）



福岡市西区にて アマサギ

## 日本野鳥の会 筑後 主催

※参加費：100 円（中学生以下無料）

5 / 2 2（日）  
濃施山公園（みやま市）  
時 間：9:00～12:00  
集 合：公園内すいせん橋  
0944-58-1672（野田達行）

## 三国丘陵の自然を楽しむ会 主催

<http://mikunikyuryo.blog107.fc2.com/>

6 / 4（日）  
自然観察会（植物・昆虫・野鳥など）  
日本自然保護協会全国一斉観察会集  
合：新九州歴史資料館駐車場  
時 間：9:30～12:30  
問合せ：092-920-3072（松永）

参加費：大人のみ 200 円  
（保険料込み）  
ブログは 三国丘陵  です  
ぐにヒットします。



ホザキキカングサ 三国・松永

## 和白干潟を守る会

5 / 2 8（土）  
守る会定例会議  
時 間：10:30～12:30  
集 合：和白干潟を守る会事務所  
問合せ：092-606-0012（山本廣子）

5 / 2 8（土）  
クリーン作戦 と自然観察会  
時 間：15:00～17:00  
集 合：海の広場 駐車場なし  
長靴・軍手があると便利  
問合せ：090-1346-0460（田辺スミ子）



## 福岡植物友の会 主催

5 / 2 6 日）  
大濠・舞鶴公園（福岡市）  
定点植物の変化を観る。  
参加は有料。要予約  
092-575-3131（北野星二）

## 久留米の自然を守る会

5 / 2 9（日）第389回例会  
高良山・樹木の名札付けと豚汁会  
遊歩道で名札付けをすることで、樹  
木を身近に感じられます。  
時 間：10:00～13:30  
集 合：高良大社駐車場  
会 費：無料  
定 員：20 名 要事前申し込み  
持ち物：水筒、筆記用具、  
問合せ：0942-46-8622（古賀）



庭で巣作りをはじめたコガタスズメバチ・松永



## ☆5月の夜空☆ 大牟田市の中岡

★みずがめ座流星群：みずがめ座  $\eta$ （エータ）流星群。母天体はハレー彗星。ハレー彗星が撒き散らした星屑。

期間 4/25～5/10頃 / ピーク 5/7の3時頃

みずがめ座は5/7の2時頃から東の空に昇ります。

幅射点はみずがめ座の特徴的な三つ矢マークのすぐそば。

★南天：南に輝く夫婦星＝牛かい座のアークトゥルスとおとめ座のスピカ。どちらも一等星の明るさで一緒に輝きながら昇ります。

春の大三角形はしし座のレグルス（太陽の約130倍）・牛かい座のアークトゥルス・おとめ座のスピカを結んだ三角形です。

★北天：大きな尻尾（北斗七星）の大熊座が我が子（小熊座）を見守るようにクルクルまわっています。

神話では、月と狩りの女神アルテミスに仕えていたカリストを大神ゼウスが見初めてしまい、カリストとの間にアルカスが生まれました。この事をゼウスの妻ヘラが怒りカリストを大きな熊に変えてしまいました。大熊になったカリストはアルテミスのそばに居られなくなり我が子を置いて森の奥へと姿を消します。月日が経ち、立派な狩人となったカリストの子のアルカスは森で大きな熊となった母カリストと出会いますが、その大熊を母親とは知らないでアルカスはとっさに弓をいってしまいます。その瞬間を見ていた大神ゼウスは弓矢を止めアルカスを小熊に変えてつむじ風を起こし二頭の熊を天空に吹き上げて星座にしました。親子を思ったゼウスの行動に怒った妻ヘラは二頭の熊が他の星座と同様に日に一度海に入って休む事ができないようにしました。大熊座と小熊座はこのため年中北の空をクルクルまわっています。

これからの野外活動では気を付けましょう。

クヌギの若葉にとりついていました。5/5に西油山林道にて撮影。田字草



そばで見かけた青色が鮮やかなフデリンドウ





# 旧暦の 歳時記

平成23年 晩春

写真と文: 本のむし

この辺のタンポポはほとんどがセイヨウタンポポ。新葉はサラダに、根はキンピラやコーヒーの代用品にも。

4月12日(旧3月10日)筑紫野市塔原

たんぽぽのわた毛いづれへゆくべしや  
たんぽぽのサラダの話 素十 源二

熊蜂のうなり飛び去る棒のごと

虚子

クマバチは穏やかな蜂である。特にこの写真は、縄張り行動中のオスで針は持たないので刺すことはない。ただ、ここにメスもやってくるので、手を出すのはやめよう。刺されれば腫上るがスズメバチほどではなさそうだ。ただ、二度目に刺されたら命に関わるらしい。(アナフィラキシー・ショック)

4月29日(旧3月27日)筑紫野市天拝坂

まなうらに燃え上がりつつ濃し

朱鳥

町中にあふれかえったツツジの花。私にとってこの花は晩春の季節感そのものです。万葉集では香少女(にほえをとめ)の枕詞に「つつじばな」が当てられている。この匂いは、「をとめ」を彷彿させる。

5月1日(旧3月29日)筑紫野市天拝坂

平成23年(2011年)の、旧暦の春は2月3日から5月2日まで。そのうち、4月3日から5月2日までが旧暦の弥生(3月)で、「晩春」にあたります。 今月は、私のデジカメ日誌から、晩春に出会った「季節感」をいくつか紹介します。



花の芯すでに苺のかたちなす

飴山 實

クサイチゴの花です。ハチ、アブ、ハエの仲間に助けられて受粉し、赤い実を結ぶ。クサというけれど、これでも木本です。実のなる夏が待ち遠しい。

4月7日(旧3月5日)筑紫野市塔原



わかさ  
分去れや風分けきれず華鬘草

けまんそう  
池上樵人

浄土真宗で用いる(華鬘:けまん)という仏具は「鯛釣草」の形に由来するが、野にあるムラサキケマンは、分類上同じ種属であるためこの名をもらった。

4月7日(旧3月5日)筑紫野市塔原



風の中銀鈴となる山椒喰

きくちつね子

ヒリン ヒリンと聞こえる声で鳴くことから、山椒を食べて喉がヒリヒリとの連想からの命名とか。

4月26日(旧3月24日)福岡市中央区小笹 市植物園

今回の季語は、「苺の花」「華鬘草(けまんそう)」「蒲公英(タンポポ)」「蜂」「山椒喰(さんしょうくい)」「つつじ」でした。



## ◆ 九州環境教育ミーティングの熊本大会に参加しました ◆ 報告 田地草

大会では、6つの分科会があり、私はセンス・オブ・ワンダー（この生きもののふるさとどこ？）という課題で進行係を担当、講師は地元を中心に活動されている植物の専門家である佐藤千芳氏にお願いしました。佐藤さんは、熊本県が編集している「くまもとの外来生物」に植物分野で関わっておられます。この分科会は7名の参加者と私を含め5名の御世話係で実施しました。

【1日目（3／5）】近くの花畑公園で、樹齢700年のくすのきと出会い、挨拶をすませたあと、「在来種・外来種」という視点で道路沿いや坪井川沿い、そして熊本城址で生きものとの出会いを楽しみました。

その結果をまとめてみました。

○遊歩道 / 在来種 ・ツルボ ・スズメノカタビラ

外来種 ・マメカミツレ ・タチイヌノフグリ ・セイヨウタンポポ ・ツボミオオバコ

○坪井川周辺の散策 / 在来種 ・シロバナタンポポ ・ノビル ・ヤエムグラ ・ヨモギ ・スズメノカタビラ等

外来種 ・ヘラオオバコ ・セイヨウタンポポ ・オオカナダモ ・セイタカアワダチソウ等

○熊本城 / 在来種 ・ジシバリ ・ノビル ・スズメノカタビラ ・オオバコ ・オニタビラコ

外来種 ・ツボミオオバコ ・オランダミミナグサ ・オオイヌノフグリ ・マメカミツレ



～どんな植物が有るか、じっくりと観察中～



～熊本城址で見かけたスズシロソウの花～

【2日目（3／6）】室内で散策して、参加者それぞれが気づいた生きものを「在来種・外来種」に分け地図上に書き込んで、表にまとめました。

### 参加者の気づき

○道ばたのわき道、ただ生えているだけだと思っていた草（植物）でも2種に分ける事ができた。1ヶ所の小さな範囲にも様々な種の植物が存在している事に気がつかされました。

○3ヶ所まわって、在来種の方が外来種より少ないという事を知った。私が知らないだけで、普段の生活の中で様々な植物を見ていた事を改めて感じ、驚きとともに、植物に興味を持つ切っ掛けとなった。

○スズシロチョウ（在来種）発見！今回の散策で季節的な事もあり、お花がなかなか咲いていなかったが、最後にかわいいお花を発見！！



～観察したことを表現するために～

### 佐藤講師のつぶやき

○外来種の数40年前10%→現在30%しかし面積で大きく違う。人口の多いところは外来種が多い。

○足で踏むと踏まれても耐えられる植物が残る。

○シダ類は孢子で増えるので外来種は少ない。花（種子）で増えるものは外来種が多い。

○空港、港、湾の周辺は外来種が多い。

○植物もコスモポリタン（世界主義）になってきた。

○土がアルカリ性になると外来植物が強い。（荒れ地などはアルカリ性）

○人間の生活と植物の関係が変化してきている。今我々の生活は植物と無関係というか希薄になってきている。しかし、江戸時代も含め昭和の時代までは生活のすべての分野で、植物と食物、遊び、衣などと深い関係があった。

宿題：今後、私たちが考えなければならないことが見えてきました。

○外来種ということがわかった。だから何なんだ！？

○特定外来種に対して今後我々はどうすればよいか？

○外来種すべてが悪いと決めつけてよいか？その判断の基準は？

○長年定着している外来種を今さら要注意植物と言っても！？

生物多様性を守っていくために、外来種とどうつきあっていくか、少し重い課題ですが。

私たちの普段目にする生きものを「在来種、外来種」と二つに分けたとき、改めて外来種の多さに驚いた。



～一緒に活動した仲間～

\*\*\*\*\*

### ◇投稿◇「ボラの大群」

4月に新宮浜北東に流れ込む花鶴川河口付近で、群で泳ぐボラに出会いました。

川の左岸側にある終末処理場からと思われる排水の流れ込みに向かうように、異様に波立つ川面をみつけ「何だろあれ？」と思い、近寄ってよく見ると、10メートル程も続くボラの群れでした。一様に排水口に向かって泳ぎながら、パクパクと盛んに口を動かしていました。あんなにたくさんのボラを見たのは、水族館以外では初めてでした。

自宅にあった資料でボラについて調べてみると、成魚は内湾などの沿岸の浅いところに生息し、10～1月ごろになると外海などに移動して産卵するそうです。主に底質表面の付着藻類やデトリタス（生物遺体や生物由来の物質の破片や微生物の遺体、あるいはそれらの排泄物を起源とする微細な有機物粒子）を、左右に首をふりながら食べるとありました。私が見た群れが、口を盛んにパクパクしていたのは、排水に含まれる有機物を食べていたのでしょうか。

それから、ボラは出世魚でもあるんですね。本や図鑑によって微妙に違いましたが、地方名が「ハクオーボコーイナーボラートド」という風に、体が大きくなるにつれて呼び名が変わり、最後の「トド」という呼び名が『とどのつまり』という言葉の語源になっているようです。呼び名が語源になるくらい、昔から人にとって馴染み深い魚なので

春日市在住 ねこ



～波立つ川面（中央）～



～波の正体（盛んに口を動かすボラの大群）～



## 志賀島で雲海を見下ろしました

報告 田字草

5／8(日)天気予報は晴れ、和白干潟の探鳥会に参加しました。そろそろ夏鳥のコアジサシがやって来る時期なのです。この日、すこしばかりのヨシ原で囀るオオヨシキリ、上空を飛翔するツバメに出会いました。その後、奈多団地近くの海面を飛翔しつつ食べ物探しをしている3羽コアジサシを観察、何となく忙しそうに飛ぶこの鳥は、どこで子育てするのでしょうか。渡り途中のチュウシャクシギ5羽も見かけましたが、盛んに食べ物探しをやっていました。

お昼が満潮のこの日は、用水路で子育て中のバンをはじめ、畑の上空で囀るヒバリなど32種の野鳥に出会いました。またハマヒルガオやハマエンドウ、ハマハタザオなどの海浜植物も満開でした。この後、志賀島の潮見台公園でハチクマの渡りを見ようと計画していました。

和白海岸から西の方向に煙のようなものが広がってきているのが見えました。気温も少し下がったように感じました。霧でした。この霧が午後になって晴れるのかと思っていたのですが、潮見台公園にやってきて驚きました。この公園の展望台、晴れていれば博多湾や玄界灘が一望できる場所なのですが、展望台の眼下は全て雲、こんな場所で雲海の上にいる状況は初めての体験でした。



和白海岸で見かけたハマハタザオの花／淡い黄色の花です。

コアジサシ(別の日に撮影)



海拔165mの潮見台公園の展望台から見た雲海に包まれた能古島(5／8の午後)

雲海の上を飛翔してくれたハチクマ28羽を数えました。

飛翔中のハチクマ(別の日に撮影)



色鮮やかなヤマフジの花 5／8撮影



この日のおまけと言うべきか、ハリオアマツバメをすぐ近くで観察できたことです。

ともかく面白い1日でした。



4月下旬、天拝山麓でみかけたもので、2センチほどの大きさです。真ん中の丸い塊がとても気になりますね。考えたらよだれが出てきました。

《前回(189号)の解答》

写真右側の「果穂」の苞と苞の間に、びっしり入っていたものが答で、クルミ科ノグルミの堅果でした。オニグルミとはぜんぜん違う印象ですね。



出題は「本のむし」でした。

## ◆◆◆事務局からのお知らせ◆◆◆

インターネット掲示板に会員の皆様の書き込みをお願いします。

ナイス福岡のアドレスはこのページの一番下に表示しています。

### 会費振込について

それぞれの会員の皆様の会員期限をタックシール部分に明記してあります。各自ご確認の上、郵便局にて下記の郵便振替口座に振り込みをお願いいたします。なお、会計年度は6月から翌年5月末までです。

**郵便振替口座：福岡県自然観察指導員連絡協議会 01760-9-15783**

**年会費：2000円**

### 皆に知らせたいことはありませんか？

皆さんが行っている観察会やイベントの案内、自然保護に関する情報やご意見、お薦めの本の紹介などをお寄せ下さい。原稿は定例会の一週間前までに事務局にお送り頂くとその月の会報に載せることができます。

皆さん情報をお待ちしています。

### 定例会に参加してみませんか？

本会の運営に関する打ち合わせや情報交換、会報の発送作業を原則として**毎月第2金曜の18:00～20:00ごろまで**自然案内舎(クラバード)にて行っています。

会員の方はどなたでも参加できるのでお気軽にお立ち寄り下さい。皆さんのおこしを心よりお待ちしております！

次回の定例会は、2011年6月10日(金)午後6時より事務局で行います。6月号の原稿は、6/6(月)までに届くようにお願いします。なお、原稿を掲載するに当たっては編集担当にお任せ願います。

※お願い 会報をホームページで見る環境をお持ちの会員は手をあげて下さい。経費節減のためです。  
宜しくお願いします。

### 他団体の会報の紹介

- ・日本野鳥の会筑後 会報まめわり 第121号 11.05.01
- ・福岡植物友の会 会報 平成23年4月号・5月号
- ・NACS-J自然観察指導員佐賀県連絡会 ネイチャー佐賀第44号 2011年3月31日

お問合せ： 福岡県自然観察指導員連絡協議会  
(NAIS Fukuoka : The Nature Interpreter Society of Fukuoka)

代表：冷川昌彦／事務局長：小野 仁／

編集：田村耕作・山本勝・松永紀代子・吉田素子／会計：宮原俊彦  
〒814-0144 福岡市城南区梅林2丁目10番23号

ハイツ中村401

自然案内舎(クラバード)内 TEL & FAX : 092-400-1765

URL : <http://www.kurabird.com/>

### 編集後記

4月の定例発送会は、山本勝・辛島真由美・藤川渡・大塚俊樹・田村耕作が参加。田中健二から欠席の連絡有り。MKから抹茶ミルク飴の差し入れ有り。連休中、近くの山を散策。フデリンドウの青い花が目立ち、澤浴いでタニギョウの小さな花の群落、サルトリイバラの花、アケビの花、そしてたくさんのクサイチゴの花を楽しみました。季節を感じながらの散策でした。田字草

